

# 第74回情報技術検定試験

※青字下線部にカーソルを合わせクリックすると関連ページへ移動します。

1. [第74回情報技術検定試験 実施要項](#)
2. [第74回情報技術検定試験 実施手順](#)
3. [「情報技術検定試験標準問題集」について（ご案内）](#)
4. [情報技術検定試験標準問題集 注文書](#)
5. [教室掲示用の文書](#)
6. [情報技術検定パンフレット](#)

## 文部科学省後援

### 第74回 情報技術検定試験実施要項

1. 主 催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
2. 目 的 工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定する。
3. 実 施 日 **令和7年6月27日（金）** ※ 実施日は指定
4. 実 施 会 場 受検を希望する学校
5. 受 検 資 格 在校生、及び会場校責任者が認めた者
6. 検 定 種 別 1級、2級、3級
7. 検 定 料 1級：900円（税込）、2級：700円（税込）、3級：700円（税込）  
**※理由にかかわらず返金しない。**
8. 検定実施手順 [「WEB入力手順」](#)を参照のうえ、以下の手順で実施する。

- ① 受検申込 **4月1日（火）から5月9日（金）**の間に、WEB上から申し込みをする。  
なお、上記期間内であれば何度でもWEB上から変更が可能。申込内容は学校のFAXに自動送信される「検定・学力テスト申込受付のご確認」で確認する。  
※学科・クラスごとではなく学校で一括して申し込む。  
※「願書・受検票」が必要な場合は、ホームページより[ダウンロード](#)して利用する。
- ② 検定料の納入 **5月16日（金）**までに以下のいずれかで送金をする。  
**納入の際には「学校名+検定名」が明記・入力されているか必ず確認すること。**

口座名義（各口座共通）：公益社団法人全国工業高等学校長協会

① 郵便口座：001604-96148

[会員校:赤色]払込料金協会負担 / [会員校以外:青色]払込料金払込者負担

※4月1日付で学校長宛に払込取扱票を送付する。紛失の際は再発行不可。

② 銀行口座：りそな銀行 九段支店（普）134674

払込料金払込者負担

以下に該当する場合は、「学校名+検定名(を表す頭文字)」を明記・入力する。

- 1) 郵便局備え付けの「払込取扱票(青色:払込料金払込者負担)」を用いる場合や、「ゆうちょダイレクトサービス」をご利用の場合
- 2) 上記②りそな銀行口座（ネットバンキングを含む）へお支払いの場合  
(例：千代田工業高校 IT、チヨダコウギョウコウ IT) ※情報技術検定→IT

### 特記事項

※理由にかかわらず返金しない。

※4月1日付で学校長宛に送付する払込取扱票を紛失した場合や追加料金の際は、上記いずれかの方法で送金手数料学校負担のうえ、送金する。

※金融機関発行の振込明細書をもって領収書の代わりとする。

※検定料に係わる見積書、請求書は原則発行しない。必要な場合は本実施要項をもって各書類の代わりとする。

※ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行に確認する。

#### ③ 検定の実施

別紙の「[情報技術検定試験実施手順](#)」により厳正に実施する。

**試験問題は実施日の1週間前を目途に送付する。**

到着後、直ちに問題の級・部数を確認し、その後は鍵のかかる金庫等で試験開始直前まで、問題の漏洩等がないよう厳重に管理すること。

検定試験実施後は問題・解答用紙を速やかに回収し、実施日以降1ヶ月間は学校に保管するよう徹底すること。

#### ④ 試験結果報告

7月11日（金）までに結果を集計し、WEB上から報告をする。

※合格者の有無を問わず、全受検校が対象。

※合格者の名簿は、各学校で保管すること。

※特別表彰候補者がいる場合は、WEB上から合格者を報告する際の備考欄に「特別」と入力し、**解答用紙の原本を本協会に送付する。**（7/11消印有効）

※必ず解答用紙の欄外に学校番号と学校名を記入する。

【解答用紙の送付先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

※1級の種目合格については、[Ⅰ][Ⅱ]ともに合格した時点で報告する。

（得点は種目合格時の得点を入力し、備考欄に以前合格した検定の回を「第〇回」と入力する。[Ⅰ]または[Ⅱ]のみの合格者は、報告は不要なので、点数を学校で確実に保管しておくこと）

#### ⑥合格証書

合格者には合格証書を交付する。

（合格証書の氏名・生年月日は学校で記入する。[合格証書印刷例](#)）

なお、認定日は試験結果報告期限日の7月11日（金）とする。

※合格証書は、到着後、直ちに部数を確認し、不備・不足の場合は必ず1ヶ月以内に連絡すること。

※合格証書は速やかに記入・作成し、**必ず年度内に合格者に交付すること**（年度を越えた場合、理由の如何を問わず**再交付不可**）。

#### 9. その他

◇同一人が異なる級の受検を希望した場合（3級と2級、2級と1級）は会場校で問題の漏洩等に十分配慮の上、時間をずらして実施すること。

（その際、受検番号は別々の異なるものを登録してください）

しかし、同じ級で複数のプログラム言語の同時受検は不可。

◇**実施結果**は全工協会 WEB ページに掲載する。

10. お問 合 せ

本協会WEBサイトの「[<検定Q&A>よくあるお問合せ](#)」参照。

本協会ホームページ <https://zenkoukyo.or.jp/>

→ 検定試験・学力テスト

→ [<検定Q&A>よくあるお問合せ](#)

情報技術検定試験担当：大谷

E-mail:otani@zenkoukyo.or.jp

文部科学省後援

第74回情報技術検定試験実施手順

1. 試験内容・時間・配点

3級・2級は100点満点、1級は200点満点

3級 検定 の 内容	1. コンピュータと社会 2. 数の表現と論理 3. コンピュータの構成と利用 4. アルゴリズム 5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択) (ただし、繰返し処理は FOR 文のみとする)	試験時間 50分 配点 100点
2級 検定 の 内容	1. 数の表現と演算 2. 論理回路 3. ハードウェアの知識 4. ソフトウェアの基礎 5. コンピュータの利用 6. アルゴリズム 7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)	試験時間 50分 配点 100点
1級 検定 の 内容	I. ハードウェアの知識 1. 数の表現と処理 2. コンピュータの基本回路 3. コンピュータの基本構成と各部の働き 4. 通信 5. ソフトウェアの基礎 6. その他の情報関連知識	試験時間 50分 配点 100点
	II. プログラミングの基礎知識 7. アルゴリズム 8. プログラム作成能力 (C 言語)	試験時間 50分 配点 100点

3級 情報処理技術入門者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

2級 情報処理技術中級者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

1級 「基本情報技術者試験」の受験希望者向け (C 言語)

[注] 1. プログラム言語は次のものを用いる。

(1) BASIC は JIS Full BASIC

(2) C 言語は ANSI, JIS 準拠

2. 論理記号は旧 MIL 記号を用いる。

3. ポケコン・電卓等の使用は不可。

2. 採点 学校ごとに定める委員会で、別に定める採点基準により行う。  
**2名以上が交代し、2回以上採点する。**
3. 合否決定 学校ごとに定める委員会で審査し、学校長が決定した後、結果を期限までにWEB上から報告する。  
但し、合格基準は1級ではIとIIの両方とも70点以上、2級・3級では70点以上得点した者とする。  
また1級の成績優秀者については特別表彰を行う。
4. 種目合格 a) 1級については不合格であっても、[I][II]いずれかの種目が70点以上の場合、該当種目を「種目合格」とする。**(この場合は報告しない。学校内にて点数を確実に保管しておく)**  
b) 種目合格は、学校ごとに定める委員会で管理する。  
c) **種目[I][II]の両方が合格した時点で、1級の合格者として報告する。**  
d) WEB上で合格者を報告する際、[I][II]の得点欄には**合格時点の得点を入力し、備考欄に以前合格した検定の回を「第〇回」と入力する。**  
e) 種目合格の有効期限は、当該生徒の在学期間内とする。  
f) 種目合格者が再度受検する場合は、**以前合格していない種目のみの受検とする。**  
その際には通常受検者と同時刻に当該種目を受検させなければならない。(特別な受検時間を設けて種目合格者のみを受検させてはならない)  
g) 1種目のみの受検であっても受検料は変更しない。
5. 特別表彰 1級の[I]と[II]の合計点が、1回の検定試験で190点以上の受検者は特別表彰の候補となる**(種目合格者は該当しない)**。  
※過去に1級を受検・合格した生徒も、特別表彰にチャレンジする為に再度受検することは可能である)  
WEB上で合格者を報告する際は、備考欄に「特別」と入力する。  
**候補者の解答用紙(原本)を、7月11日(金)までに送付して申請する。**  
**(WEB上で「特別」と入力しても、解答用紙を送付しないと申請したことにはならないので注意すること)**  
**※必ず解答用紙の欄外に学校番号と学校名を記入する。**  
**※2名で2回以上採点した痕跡が明瞭に分かるようにすること。**  
**【解答用紙の送付先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1  
公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛**  
**7月11日(金)までに届いた解答用紙を、後日問題作成委員会で審査し、認められた場合は表彰者へ賞状と記念楯が贈られる。**
6. その他 a) **申込内容は申込締め切り日の5月9日(金)までは変更可能。再度ログイン後、変更箇所を上書き変更する。**  
b) 受検番号は実施校で任意の番号を設定すること。  
c) 2、3級の試験問題の冊子は言語別に分かれていない為、言語の選択を間違えないように、試験開始時に注意を促すこと。

**情報技術検定試験標準問題集について（ご案内）**  
（公益社団法人 全国工業高等学校長協会編集・発行）

1. 構成と配慮点

- (1) ① 3級情報技術検定試験標準問題集  
科目「工業情報数理」で扱う程度の基礎的な事項の学習者
- ② 2級情報技術検定試験標準問題集  
情報技術ならびに情報処理を学ぶ中級程度の学習者
- ③ 1級情報技術検定試験標準問題集  
経済産業省「基本情報技術者試験」の受検も目指している上級程度の学習者
- (2) 受検者の自学自習の便を図るため、それぞれの章に要点を入れる。
- (3) 例題と解答要領を入れる。
- (4) 練習問題と章末問題を入れる。
- (5) 巻末には前年度2回分の過去問題と解答を付ける。  
※標準問題集は、上記の3冊（公益社団法人 全国工業高等学校長協会編集・発行）  
となっております。内容ならびに定価（税込）は次頁の通りです。

2. 申込み及び照会先 公益社団法人全国工業高等学校長協会 FAX 03-3261-2635

E-mail otani@zenkoukyo.or.jp 担当：大谷

3. 申込方法 注文書をダウンロードして、FAX またはメールでお申し込みください。

◇情報技術検定問題集のみの注文書は →ここから[ダウンロード](#)

◇本協会発行問題集の一括注文書は →ここから[ダウンロード](#)

4. 代金納入 問題集着荷後、同封されている請求書に基づき以下のいずれかでお支払いください。

口座名義（各口座共通）：公益社団法人全国工業高等学校長協会

① 郵便口座：001604-96148 ※払込取扱票を同封。紛失の際は再発行不可。

[会員校:赤色]払込料金協会負担 / [会員校以外:青色]払込料金払込者負担

② 銀行口座：りそな銀行 九段支店（普）164374

払込料金払込者負担

以下に該当する場合は、「学校名+請求No.の頭文字」を明記・入力してください。

- 1) 郵便局備え付けの「払込取扱票（青色:払込料金払込者負担）」を用いる場合や、「ゆうちょダイレクトサービス」をご利用の場合
- 2) 上記②りそな銀行口座（ネットバンキングを含む）へお支払いの場合  
（例：千代田工業高校 IT、チヨウダコウギョウコウ IT）※計算→K, 情報→IT, 基礎製図→B,  
機械製図→M, パソコン→P, グラフィック→G, 工業英語 BB→L

注意) ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行に確認してください。

5. その他

[返本・交換] **返本・交換には対応できません。** 注文冊数・申込問題集等に間違いがないことを**必ずご確認のうえ**ご注文ください。

[献本] 問題集の種類ごと 30冊につき1冊を献本いたします。書店経由の申込には献本はつきません。

[送料] 学校から直接本協会にお申し込みの場合、送料は協会が負担いたします。

[最新情報] [最新情報](#)は本協会WEBページで随時更新しております。問題集に訂正がある場合は[正誤表も掲載](#)してありますのでご確認ください。

[その他] そのほか確認したいことがありましたら、担当者宛にメールで確認するか、[「お問い合わせフォーム」](#)からお問い合わせください。

### 3級編

1. コンピュータと社会	情報化社会，情報モラルと管理	A4判 1,630円
2. 数の表現と論理	2進数・16進数，論理回路の基礎	
3. コンピュータの構成と利用	コンピュータの構成，周辺装置，ソフトウェアの基礎，コンピュータ用語，マルチメディア，コンピュータネットワーク	
4. アルゴリズム	直線型，分岐型，繰り返し型，トレース	
5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC，C言語から選択)	データの入出力と計算，制御文 (ただし，繰り返し処理はFOR文のみとする)	

### 2級編

1. 数の表現と演算	数の表現，2進数の演算	A4判 1,800円
2. 論理回路	論理回路と論理式，コンピュータの基本回路	
3. ハードウェアの知識	コンピュータの基本構成，コンピュータの基本動作，周辺装置	
4. ソフトウェアの基礎	ソフトウェアの構成，ソフトウェアの関連知識	
5. コンピュータの利用	マルチメディア，ネットワーク，コンピュータ制御	
6. アルゴリズム	流れ図の基本形，多分岐型，多重ループ，	
7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC，C言語から選択)	トレース，サブルーチン，配列，探索，並べ替え データの入出力と計算，制御文，配列，サブルーチン	

### 1級編

I. ハードウェアの基礎知識		A4判 2,050円
1. 数の表現と処理	情報量，数の表現，正の数・負の数，固定小数点形式と浮動小数点形式，データの表し方，論理演算	
2. コンピュータの基本回路	基本論理回路と論理式，演算回路，フリップフロップを応用した回路，エンコーダ・デコーダとマルチプレクサ・デマルチプレクサ，インタフェース回路	
3. コンピュータの基本構成と各部の働き	基本構成，中央処理装置，主記憶装置，補助記憶装置，入出力装置	
4. 通信	通信方式，インターネット向けのブロードバンドサービス	
5. ソフトウェアの基礎	オペレーティングシステム，プログラム言語，アプリケーションソフトウェア，ソフトウェアの開発	
6. その他の情報関連知識	情報技術と社会，ネットワーク，情報処理システム，マルチメディア，情報化の課題	
II. プログラミングの基礎知識		
7. アルゴリズム	並べ替え，探索，順位付けと度数分布，漸化式，簡単なアルゴリズム，代表的なアルゴリズム，定積分のアルゴリズム，根を求めるアルゴリズム	
8. プログラム作成能力 (C言語)	応用的なプログラム，各種アルゴリズム	



文部科学省後援

## 情報技術検定試験 標準問題集 注文書

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

月 日

※学校番号は、本協会HP - 協会案内 - 『会員校 学校番号・ホームページ一覧』に掲載してあります。

学校番号		学校名	
所在地	〒		
電話番号		担当者名	

下記のとおり注文します

必要な場合は✓を入れてください  見積書  
(請求書と一緒に送付します)  納品書

FAX 03-3261-2635 ※送付状不要

書名 (令和7年度版)	注文数	単価(税込)	備考
1級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	2,050円	
2級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	1,800円	
3級 情報技術検定試験 標準問題集	冊	1,630円	
合計	冊	円	

### 《注意》

- ※ **返本は受け付けておりません。**  
級・冊数の記入ミスが無いようご確認のうえ、ご注文下さい。
- ※ 送料は、学校から本協会に直接ご注文の場合、協会が負担いたします。  
その他のご注文は20冊以上ご注文の場合のみ協会が負担いたします。
- ※ 1回のご注文で各級30冊ごとに1冊献本いたします。  
ただし、書店を経由する際は献本はありません。
- ※ 代金のお支払いについては問題集に同封する赤色(会員校、払込料金加入者負担)、  
または青色(会員校以外、払込料金払込者負担)の払込取扱票をお使いください。  
ゆうちょ銀行では、現金で支払う際は別途、手数料がかかる場合があるため、詳細はゆうちょ銀行にご確認ください。  
**「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。**
- ※ ご注文はFAX(送付状不要)またはメールにてお願いいたします。
- ※ 最新情報は本協会WEBページで随時更新しております。  
問題集に訂正がある場合は正誤表も掲載してありますのでご確認ください。

(協会処理欄)

請求番号	発送月日

# 令和7年度 第74回情報技術検定試験

1. 主催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
2. 目的 工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定する。
3. 実施日 令和7年6月27日(金)
4. 会場 本校 ( )
5. 試験方法 筆記試験による検定。
6. 検定料 3級・700円(税込) 2級・700円(税込) 1級・900円(税込)
7. 受検手続 検定料をそえて申し込むこと。

【 月 日 ( ) までに 先生に申し込む 】

8. 内容・時間・配点 3級・2級は100点満点 1級は200点満点。

3 級 検 定 の 内 容	1. コンピュータと社会 2. 数の表現と論理 3. コンピュータの構成と利用 4. アルゴリズム 5. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択) (ただし、繰り返し処理は FOR 文のみとする)	試験時間 50分 配点 100点
2 級 検 定 の 内 容	1. 数の表現と演算 2. 論理回路 3. ハードウェアの知識 4. ソフトウェアの基礎 5. コンピュータの利用 6. アルゴリズム 7. プログラム作成能力 (JIS Full BASIC, C 言語から選択)	試験時間 50分 配点 100点
1 級 検 定 の 内 容	I. ハードウェアの知識 1. 数の表現と処理 2. コンピュータの基本回路 3. コンピュータの基本構成と各部の働き 4. 通信 5. ソフトウェアの基礎 6. その他の情報関連知識  II. プログラミングの基礎知識 7. アルゴリズム 8. プログラム作成能力 (C 言語)	試験時間 50分 配点 100点  試験時間 50分 配点 100点

3級 情報処理技術入門者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

2級 情報処理技術中級者向け (JIS Full BASIC, C 言語から選択)

1級 国家試験「基本情報技術者試験」の受験希望者向け (C 言語)

[注] 1 プログラム言語は次のものを用いる。

(1) BASIC は JIS Full BASIC

(2) C 言語は ANSI, JIS 準拠

2 論理記号は旧 MIL 記号を用いる。

3 ポケコン・電卓等の使用は不可。

9. 合格基準 3級・2級は70点以上、1級はI・IIとも70点以上。

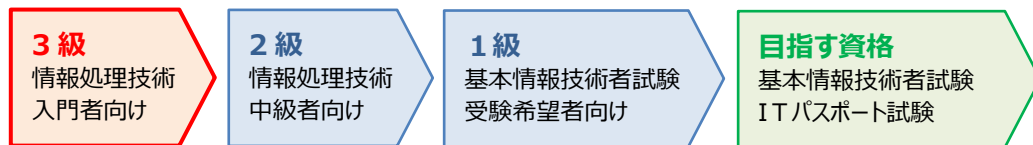
合格基準に達した場合は合格証書を授与する。

10. 特別表彰 1級の合計点数が190点以上となり、本協会の審査を通過した者は特別表彰者となる。

**主催者申込期限 5月9日(金)**

**教室掲示用**

- A 検定名称 情報技術検定3級
- B 目的 工業技術者として必要な基礎的な情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定します。



各級の程度とスキルアップのイメージ

- C 受検資格 全工協会会員校の在校生及び会場校責任者が認めた者  
科目「情報技術基礎」・「工業情報数理」学習者の初級程度が対象
- D 検定内容 試験時間>50分 配点>100点満点  
合格基準>70点以上得点した者が合格

項目	内容
1 コンピュータと社会	情報化社会、情報モラルと管理
2 数の表現と論理	2進数、16進数、10進数、論理回路の基礎
3 コンピュータの構成と利用	コンピュータの構成、周辺装置、ソフトウェアの基礎、 コンピュータ用言語、マルチメディア、コンピュータネットワーク
4 アルゴリズム	直線型、分岐型、繰り返し型、トレース
5 プログラム作成能力	データの入出力と計算、制御文 [プログラム言語は、JIS Full BASIC、C 言語から選択]

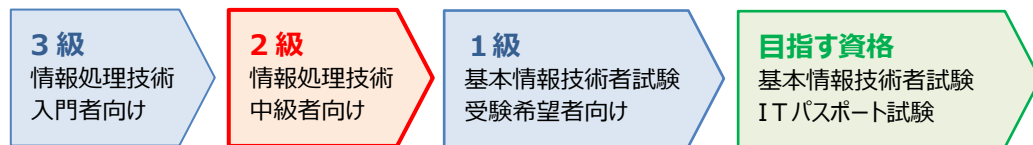
- E 検定日 第74回 令和7年6月27日(金) 第75回 令和8年1月16日(金)
- F 検定料 3級 700円
- G 検定会場 各学校で実施
- H 問題集 全国工業高等学校長協会編集・発行「情報技術検定試験標準問題集」3級 1,630円  
自学自習で合格するための要点、例題、解答要領、練習問題、過去問題などがあります。

I 過去数年の合格率

実施回 (年度)	受検者数	合格者数	合格率
第73回 (R6年度)	35,898	24,644	68.65
第72回 (R6年度)	3,084	1,877	60.86
第71回 (R5年度)	37,137	25,891	69.72
第70回 (R5年度)	3,795	1,847	48.67
第69回 (R4年度)	38,797	22,771	58.69
第68回 (R4年度)	4,367	2,507	57.41

- J その他 ジュニアマイスターにおける区分はEランク、申請点は2点です。

- A 検定名称 情報技術検定2級
- B 目的 工業技術者として必要な基礎的な情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定します。



各級の程度とスキルアップのイメージ

- C 受検資格 全工協会会員校の在校生及び会場校責任者が認めた者  
科目「情報技術基礎」・「工業情報数理」学習者の中級程度が対象

- D 検定内容 試験時間>50分 配点>100点満点  
合格基準>70点以上得点した者が合格

項目	内容
1 数の表現と演算	数の表現、2進数の演算
2 論理回路	論理回路と論理式、コンピュータの基本回路
3 ハードウェアの知識	コンピュータの基本構成、コンピュータの基本動作、周辺装置
4 ソフトウェアの基礎	ソフトウェアの構成、ソフトウェアの関連知識
5 コンピュータの利用	マルチメディア、ネットワーク、コンピュータ制御
6 アルゴリズム	流れ図の基本形、多分岐型、多重ループ、トレース、サブルーチン、配列、探索、並べ替え
7 プログラム作成能力	データの入出力と計算、制御文、配列、サブルーチン 〔プログラム言語は、JIS Full BASIC、C 言語から選択〕

- E 検定日 第74回 令和7年6月27日(金) 第75回 令和8年1月16日(金)

- F 検定料 2級 700円

- G 検定会場 各学校で実施

- H 問題集 全国工業高等学校長協会編集・発行「情報技術検定試験標準問題集」2級 1,800円  
自学自習で合格するための要点、例題、解答要領、練習問題、過去問題などがあります。

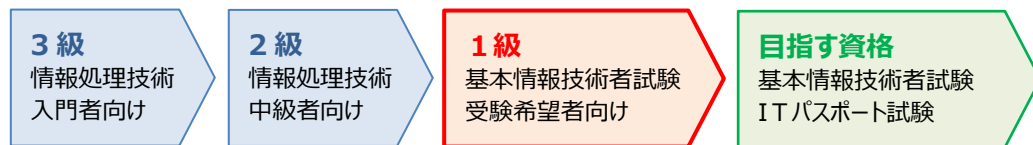
- I 過去数年の合格率

実施回 (年度)	受検者数	合格者数	合格率
第73回 (R6年度)	6,247	3,756	60.12
第72回 (R6年度)	3,413	1,291	37.83
第71回 (R5年度)	6,398	3,338	52.17
第70回 (R5年度)	3,481	1,371	39.39
第69回 (R4年度)	6,808	4,549	66.82
第68回 (R4年度)	4,084	2,112	51.71

- J その他 ジュニアマイスターにおいての区分はDランク、申請点は4点です。

A 検定名称 情報技術検定1級

B 目的 工業技術者として必要な基礎的な情報技術に関する知識と技能が習得されているかを検定します。



各級の程度とスキルアップのイメージ

C 受検資格 全工協会会員校の在校生及び会場校責任者が認めた者

「基本情報技術者試験」・「ITパスポート試験」の受験希望者が対象

D 検定内容 試験時間 > IとIIともに50分 配点 > IとIIともに100点満点で合わせて200点満点  
合格基準 > IとIIともに70点以上を得点した者が合格  
特別表彰 > IとIIの合計点数が190点以上で本協会の審査を通過した者

分野	項目	内容
I. ハードウェア の基礎知識	1 数の表現と処理	情報量、数の表現、正の数・負の数、固定小数点形式と浮動小数点形式、データの表し方・論理演算
	2 コンピュータの基本回路	基本論理回路と論理式、演算回路、フリップフロップを応用した回路、エンコーダ・デコーダとマルチプレクサ・デマルチプレクサ、インタフェース回路
	3 コンピュータの基本構成と各部の働き	基本構成、中央処理装置、主記憶装置、補助記憶装置、入出力装置
	4 通信	通信方式、インターネット向けのブロードバンドサービス
	5 ソフトウェアの基礎	オペレーティングシステム、プログラム言語、アプリケーションソフトウェア、ソフトウェアの開発
	6 その他の情報関連知識	情報技術と社会、ネットワーク、情報処理システム、マルチメディア、情報化の課題
II. プログラミング の基礎知識	1 アルゴリズム	並べ替え、探索、順位付けと度数分布、漸化式、簡単なアルゴリズム、代表的なアルゴリズム、定積分のアルゴリズム、根を求めるアルゴリズム
	2 プログラム作成能力	応用的なプログラム、各種アルゴリズム 〔プログラム言語はC言語〕

E 検定日 第74回 令和7年6月27日(金) 第75回 令和8年1月16日(金)

F 検定料 1級 900円

G 検定会場 各学校で実施

H 問題集 全国工業高等学校長協会編集・発行「情報技術検定試験標準問題集」1級 2,050円

I 過去数年  
の合格率

実施回 (年度)	受検者数	合格者数	合格率	特別表彰者数
第73回 (R6年度)	788	142	18.02	5
第72回 (R6年度)	628	299	47.61	29
第71回 (R5年度)	869	264	30.38	21
第70回 (R5年度)	826	159	19.25	1
第69回 (R4年度)	1,034	251	24.27	26
第68回 (R4年度)	797	204	26.60	2

J その他 ジュニアマイスターにおいての区分はBランク、申請点は12点です。ただし、特別表彰者(1級の成績優秀者)は、区分はAランク、申請点は20点です。